

## 第84回県外植物観察会 豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）を訪ねて

〈開催日〉 2022年10月23日（日）  
 〈集合場所&時間〉 JR東海道線二川駅南口 10時20分  
 〈参加者〉 大谷一弘・和田義彦幹事以下 11名

豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）は、本格的な動物園と植物園、自然史博物館が併設された総合公園です。休日ということもあり、大盛況で今回、本会会員でもある穂田学芸員を訪ね、一般の人には入れない自然史博物館のバックヤードや貴重な植物の「生息域外保全」を案内していただき私たちは、その他に地球誕生からカンブリア紀まで「古生代の化石」の閲覧、野外植物園の観察、温室の植物の鑑賞を楽しみました。

**【豊橋総合動植物公園に入場まで】 JR二川駅南口に集合し、「のんほいパーク」東門を目指す。**

車窓から見る伊吹山 久し振りの新幹線

電車を乗り継ぎ、JR二川駅南口に到着 無事全員集合



博物館へ向かう 後方は東山その先が葦毛湿原



博物館前でスケジュールの打ち合わせ



東門から入場



**【屋外植物園を通り、自然史博物館へ】  
 入って正面は「大温室」**



大温室のピロティ通路を進む



大花壇



ミレット（クロキビの園芸種）



トウガラシ（園芸種）



今は盛りのコスモス



カラタチバナ（左：赤、右：黄）



ヤブレガサ





シモバシラ



サンザシ (バラ科、中国原産)



ジャスミン



フジバカマ



アサギマダラ



ホルトノキ



シュウカツザクラ



自然史博物館 ポケモン化石博で大々行列



【自然史博物館】 バックヤードの見学と博物館見学(古生代展示室)の2班に分かれて見学。

エクセル隕石 (切片)

一度溶けた金属部分と岩石が半々に混じり合う



キンバーライト

火山ガス爆発でマグマが地表で急冷、多彩な金属を含む



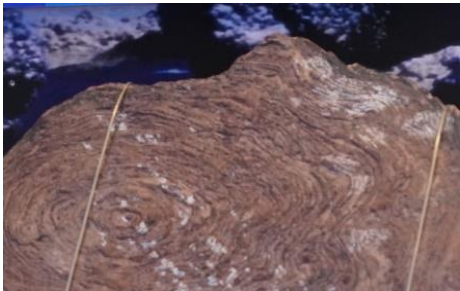
縞状鉄鉱層

シアノバクテリアの光合成で酸素が発生 鉄が酸化鉄に変化、地底で他の物質と縞状に堆積



ストロマトライト

大量発生したシアノバクテリア類の死骸と泥粒などによって作られる層状の構造をもつ岩石



エディアカラ動物群の化石

両化石群は、「カンブリア大爆発」の時期のものであり、この時期すべての動物門が出現した可能性がある。カンブリア紀は約5億4200万年前から約4億8830万年前までとされる



バージェス動物群の化石





原生物の化石

「原生物」とは真核で単細胞の生物  
菌界にも植物界にも動物界にも属さない生物の総称



原始陸上植物の化石と発生系統図



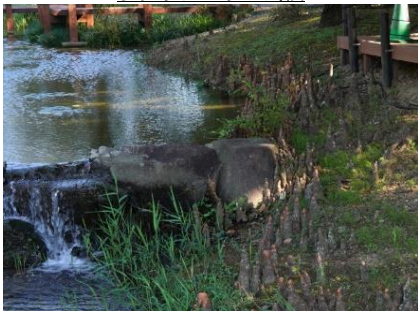
1班と交代して、バックヤードを案内していただいた。

バックヤードの見学をしながら「標本作り」の苦労話も聞きました。 標本作りの必須アイテム「ラミントンテープ」

【屋外植物園を観察】 稗田学芸員の案内でスイレンの園へ向かう。現在「モネの庭」は工事中  
ラクショウの気根 ノジトラノオ

ヒメコウホネ 水中葉

彦根玄宮園にはサイゴクヒメコウホネ



アサザ



シデコブシ (東海丘陵要素)



稗田学芸員と記念撮影



ミコシギク



ここで、稗田学芸員と別れ、野外植物園を散策  
イワビバ



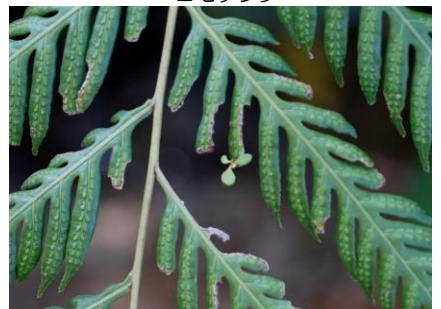
コモチシダ



コハウチワカエデ



ミスヒキ



シュロソウ





センリョウ



アシタバ



サルノコシカケ



フタリスズカ



ヒトリシズカ



オトギリソウ



ミヤマシキミ



イソギク



ホトトギス



【大温室】 15:30まで自由時間。多くのメンバーが温室を見学  
願いの広場 黄葉のメタセコイア並木 サバクオモト 長い葉がねじれる

モンヨウショウ



フイリソシンカの葉



ゴクラクチョウカ



大型の常緑シダ リュウビнтаイ



シマバナナ



ブルメリア



キダチチョウセンアサガオ





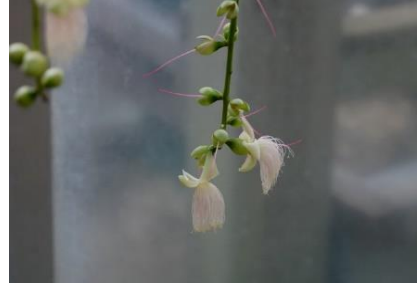
アンズリウム



ムッサエンダ 'ロセア'



夜咲く サガリバナ



ピカクシダ (ヒラジカノ角の形)



ヒモノキ 紅白



国道1号線 「石山」まで継っている



【感想】

豊橋総合動植物公園は想像していた以上に大きなレジャーランドでした。40hr、人・人・人。動物園はアフリカエリア、オーストラリアエリア、極地動物館、バード・モンキー・フクロウなどの個別エリアもあり、家族連れで楽しめます。今回、私の目的の一つだった「自然史博物館」は、スケジュールの関係で古生代展示室のみの見学になり、近くにあればすぐにでもまた来たいと思いました。参加者の皆様、楽しい一日、ありがとうございました。

村山和夫

夫